

心つない

No. 5

発行

2011年4月9日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉

(ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

4月8日～10日にかけて村上理事長と大倉組員活動支援担当の2人が、福島入りし、現地で活動する福島中央市民医療生協を訪問、支援活動にも合流しました。その際持参した「寄せ書き」「ビデオレター」は現地で奮闘する職員・組員さんに大好評でした。

★ 福島入り、その日にさっそく被災地・相馬市へ

○7日深夜の震度6強の余震発生で、一時はどうなるかと心配しましたが、無事福島へ到着。その日の午後には、福島中央市民医療生協のスタッフとともに、被災地の相馬市に入りました。〈写真・右〉

○現地は原発事故による待避地域。そこへ水や米を運ぶお手伝いを。〈写真・下〉



○相馬市は、福島市内から車で1-2時間。津波と原発事故で甚大な被害が発生しています。〈写真・右下〉



★ 翌日9日は、最大の避難所・吾妻運動公園でボランティアに



○二日目の9日は、県立南高校へ炊きだしのお手伝いに行きました。その後、午後2時から福島中央市民医療生協の理事会があり、冒頭に村上理事長が支援のご挨拶を30ほど行いました。

さらにその後、福島で最大の避難所・吾妻運動公園に出向き、大倉さんはボランティア活動の受け入れ折衝〈写真・左〉。詳細は次号に掲載します。

○職員・組員のみなさんには、短期日の間にもかかわらず、ビデオレター、寄せ書きと何かとご協力ありがとうございました。後日、その内容もご紹介したいと思います。

★ 第3次現地支援 ★

4月12日～15日にかけて、第3次被災地として、森本常務と上野組合員活動支援担当の2人が千葉先生の郷里・大船渡に行くことになりました